

## ラピッドプロトタイピング大百科

—変種変量の切り札—

申込締切:平成18年12月15日(金)

開催期日:平成18年12月22日(金)

主催:社団法人精密工学会

企画:事業部企画第3グループ

協賛:(予定)大田区産業振興協会/RP産業協会/SME東京支部/TAMA産業活性化協会/TAMA-TLO/応用物理学会/型技術協会/機械振興協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/産業技術総合研究所計測標準研究部門/自動車技術会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/超硬工具協会/電気加工学会/電気学会/砥粒加工学会/日本液晶学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学学会/日本光学測定器工業会/日本工具工業会/日本工作機械工業会/日本工作機器工業会/日本小型工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本産業技術振興協会/日本材料学会/日本精密測定機器工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/日本ダイカスト協会/日本ロボット学会/発明協会東京支部/プラスチック成形加工学会

昨今は、顧客の個性化・多様化にともなう製品の変種・変量化、短納期化や短い製品寿命など、製造業を取り巻く環境はよりいっそう厳しさを増しています。現代の製造現場は、この環境の変化に対して、すばやく対応できるような生産体制を構築する必要があります。従来、ラピッドプロトタイピングは、試作品期間の短縮のために、形状のみを迅速に作製する手法として登場しましたが、最近では変種変量生産時代の製造技術としても注目されています。

本講習会では、ラピッドプロトタイピング分野の第一線でご活躍の方を講師にお迎えして、ラピッドプロトタイピングの歴史や技術動向から、最先端技術、さらに実用への取り組み事例などを紹介して頂きます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成18年12月22日(金) 10時25分～16時45分

会場 東京大学 駒場リサーチキャンパス (〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1)

東京大学 先端科学技術研究センター 4号館 2階 大講堂

\*東北沢駅下車 徒歩7分、代々木上原駅下車 徒歩12分(小田急線/東京メトロ千代田線)

\*駒場東大前駅下車 徒歩10分、池ノ上駅下車 徒歩10分(京王井の頭線)

会場 URL: <http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/maps/index.html#area>

司会 土屋 健介(東京大学), 小倉 一朗(産総研)

時間	題目	内容	講師
10:25~10:30		挨拶	
10:30~11:30	RP技術は何処からきて何処に向かうのか	三次元コピー技術からの脱皮を図りつつあるラピッドプロトタイピングの技術動向をやさしく解説する。RPとは、RP方式、RP用材料、RPの応用展開、RPの将来展望。	茨城大学 前川 克 廣
11:30~12:30	粉末成形によるラピッドプロトタイピング(仮題)	粉末焼結積層造形技術を適用したラピッドプロトタイピングをテーマに、この分野の最新の研究成果について紹介する。	東京大学 新野 俊 樹
12:30~13:30		昼 食	
13:30~14:30	光造形ラピッドプロトタイピングの技術動向(仮題)	紫外線レーザーと硬化樹脂によって複雑な形状を造形する、光造形ラピッドプロトタイピングの技術動向を紹介する。	九州工業大学 檜 原 弘 之
14:30~15:30	医療におけるRPの活用と歯科用CAD/CAMシステムの動向	医療・歯科を合わせて、医療とは、究極のカスタムメイドを要求される分野である。そのなかで、3次元CTから得られる形態情報を元に、RPで何が可能になったのか、これからどのような方向に向かうべきなのかを考える。次に、ゆるやかに3次元のCAD/CAM化が進もうとしている歯科の分野の動向と、そこにおけるRPの可能性も展望する。	北海道大学 上 田 康 夫
15:30~15:45		休 憩	
15:45~16:45	金属光造形複合加工システムによる高機能射出成形金型製作	金属粉末積層焼結法と高速切削を組み合わせた金属光造形複合加工システムを開発し、射出成形金型の製作期間を大幅に削減した。また、粉末積層焼結法の特徴を活用することにより、より成形品の高精度化と射出成形サイクルの短縮を実現した。	松下電工(株) 阿 部 諭

定員:60名(先着順で定員になり次第締め切ります)

参加費:会員(正会員,賛助会員,協賛団体会員)20,000円【資料代込み】、非会員30,000円【資料代込み】、

学生会員 無料(資料はありません。資料を希望する場合は4,000円)、学生非会員6,000円【資料代込み】

資料:資料のみ、受講者で資料を2冊以上希望の場合、1冊4,000円、

\*資料のみをご希望の方は発送は講習会終了後になります。

【参加費、資料代とも税込み】

申込方法:告\*\*\*\*ページ掲載の講習会・シンポジウム等申込方法参照

申込先:精密工学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9, 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, Fax 03-5226-5192

(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> からも申込できます)